

福井県勝山市
フォトグラフ

勝山三六五日

何気ない日が、他にはない日







あなたが訪れる日も
いつも通りの
一日なのです。

例えばあなたが、えちぜん鉄道で終点の勝山駅に降り立った時、その場所が街中ではなく、近くに大きな九頭竜川が流れている文字通り山と川に挟まれたロケーションに驚くかもしれません。

福井市から電車で揺られること約一時間。慌ただしかった時間が車窓の景色と一緒に流れていき、着いた頃には静かでゆったりした時間があなたを包んでいるでしょう。電車も多くて一時間に二本だから、駅にいる人は電車のダイヤに合わせてやって来た地元の人たち。勝山駅でのいつもの風景ですが、都会にはない時間の流れ方、使い方。勝山市の日常がここにあります。

時間が許すなら、市内をぶらりと歩きませんか。観光地ではないので賑やかではないですが、伝統的な街並みやノスタルジックな店先などに出会えるはずです。足をのばすと「福井県立恐竜博物館」「白山平泉寺」もあります。言うなればここは何万年、何百年単位で重ねてきた歴史と現代とをつなぐところ。それぞれの場所で数えきれないほどの「いつもの一日」を繰り返してきました。その中で、今日という日を遠くから訪ねてきたあなたに過ごしてもらおうこと。その一日は「いつもの一日」でありながら、一つひとつが私たちにとっても大切な宝物となっていくのです。





最盛期の戦国時代には48の社に36のお堂、6000坊があり、8000人ももの僧兵がいたとか。一向一揆によって全山焼失しましたが、境内の静けさが当時の賑わいを現代の私たちに伝えてくれているようです

一三〇〇年以上
積み重ねた毎日を
想像してみませんか。

境内全体が鮮やかな緑の苔に覆われた「白山平泉寺」は、かつて日本でも有数の宗教都市として栄えていた場所。約一三〇〇年前に白山信仰の拠点として泰澄大師が開いたことが始まりとされています。

発掘調査は平成に入ってから始まりました。石畳道や石垣など、まちづくりの技術は当時の最先端だったことが分かっていますが、調査は全体規模二〇〇ヘクタールのようにやく一%が終わったところ。静かに時を刻んできた歴史のロマンはまだまたこの地に眠っています。



白山平泉寺の奥に位置する社「三宮」へ向かう参道



拜殿に奉納されている絵馬は、毎年元日に開帳されています



平泉寺の名の由来となった池は今も水が渾々と湧いています



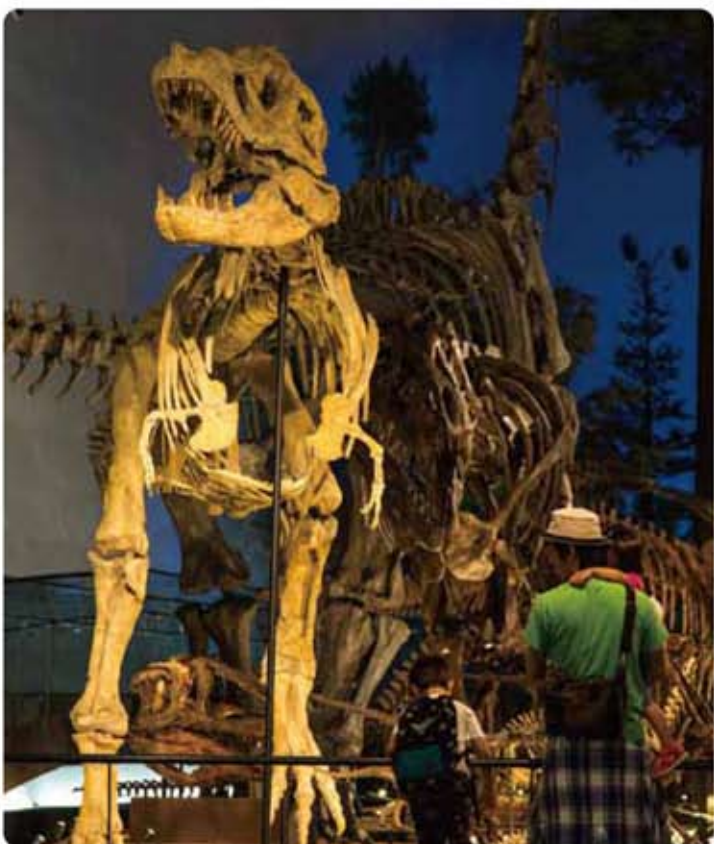
平泉寺集落では美しい紅葉も



勝山市で発掘されたアキラプトルをリアルに再現。ジオラマや映像などを駆使した展示に想像力がかきたてられます



動いたり、声が出たりする展示で館内はテーマパークのよう



広大な館内には、42体の恐竜の全身骨格が展示されています

地球スケールの 日々を紐解く、 タイムカプセル。

実は日本有数の化石発掘産地である勝山市からは、世界に誇る化石の数々が発掘されています。学名を持つ恐竜の数は日本一。『ブクイ』や『カツヤマ』の名も付けられ、学術的にも貴重な研究資料となっています。

市全体は恐竜化石のほかにも地質や地形から太古からの地球の活動を実感できるスポットが点在しているので、

『大地の公園』を意味する「日本ジオパーク」のひとつに認定されています。

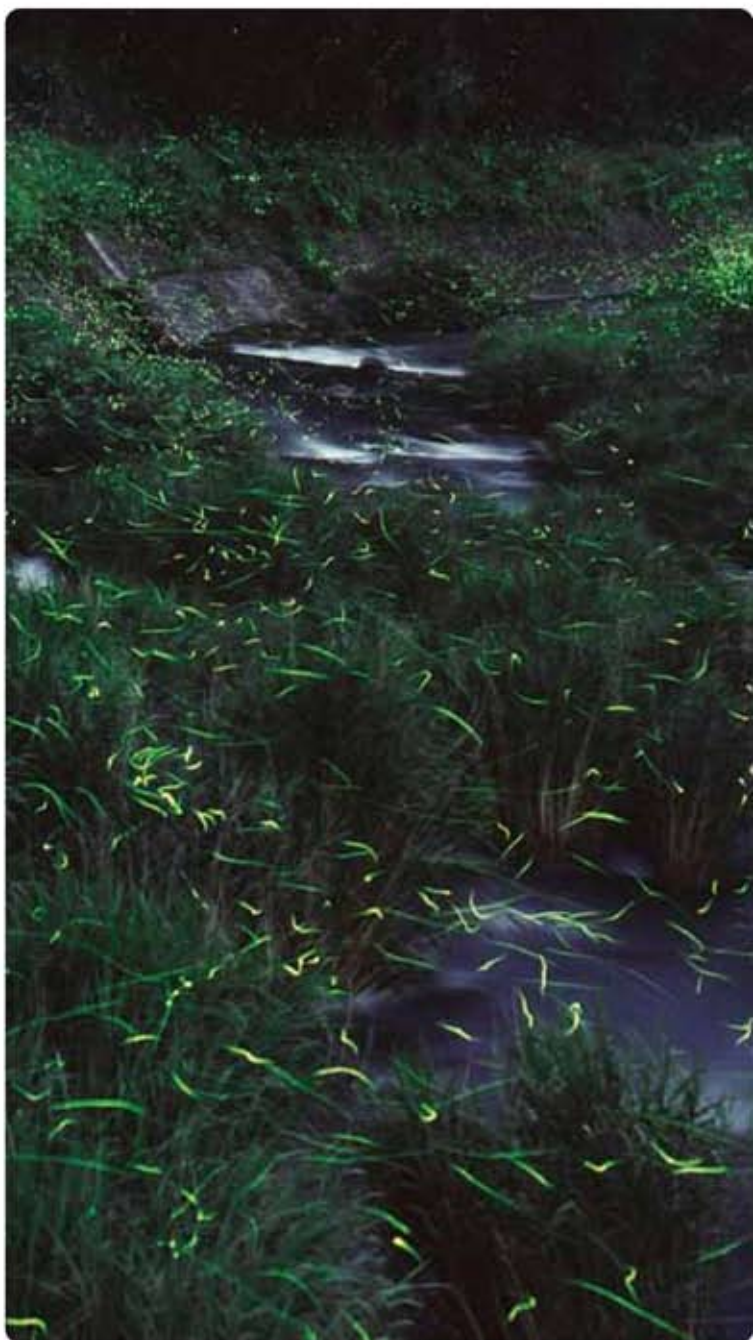
「勝山ジオパーク」の中心的な施設が「福井県立恐竜博物館」。恐竜がテーマの国内最大級の博物館で、全国から多くの人が足を運ぶ人気スポットです。周辺には化石発掘体験や実物大の動く恐竜が棲む森なども整備され、まさに恐竜ワールドのメッカとなっています。



街中のいたるところに恐竜が、博物館は恐竜のタマゴのような外観が目印



1.5キロメートルに渡る450本の桜と鯉のぼり。満開になると桜のトンネルが完成します



市街地を流れる川でホタルの鑑賞ができるのは福井県内でも珍しい

季節を彩る
日常こそが、
絶景なのかも。

勝山市は福井県の北東、「奥越前」と呼ばれる白山連峰の麓に位置し、美しく豊かな自然環境が自慢です。

だから、四季の移ろいが毎日の暮らしとともにあります。

冬はちよつと多めに雪が積もりますが、その分、遅めの春が訪れる喜びもひとしお。九頭竜川沿いに弁天桜が咲き誇る頃の、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳ぐ姿は勝山の春の風物詩です。

豊富な雪解け水は清流となり街を流れます。住宅街のそばを流れる川に淡いホタルの光がポツリポツリと見え始めたら、今年も夏が近づいてきたという合図。夕闇にホタルが乱舞する幻想的な光景は、勝山が初夏を迎え、暑い季節がやってくるプロローグなのです。

いつの日から
この姿なのか、
尋ねたくになります。

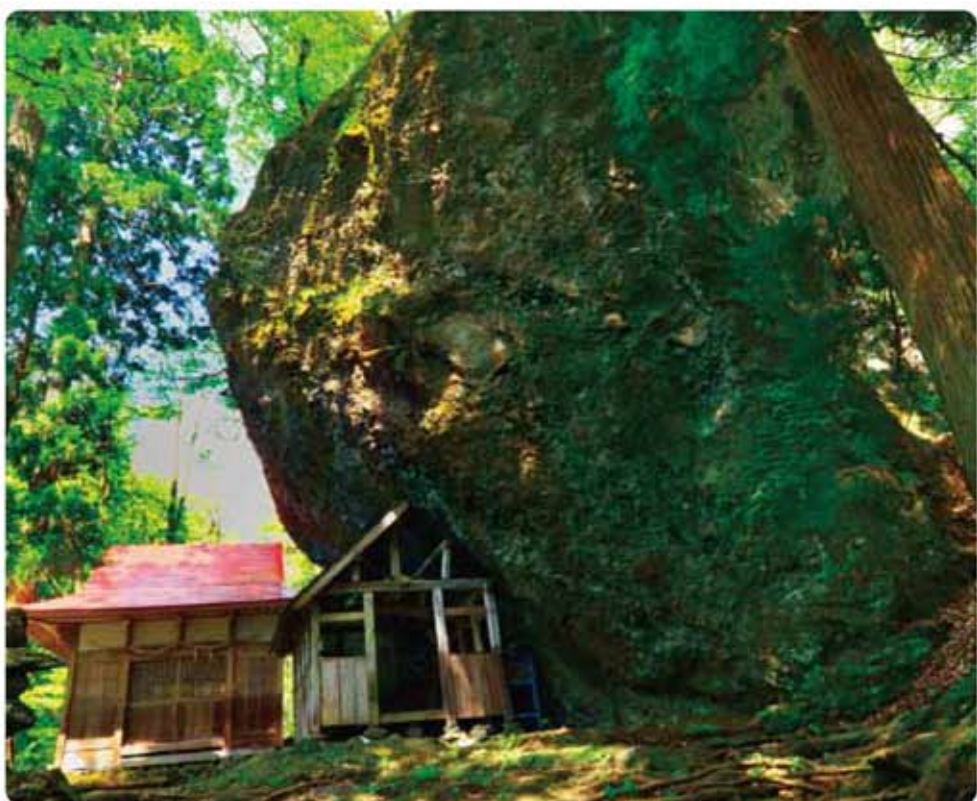
思わず息を飲んでしまう姿で、見る人を圧倒する大岩と大杉。この姿になるまでにどのぐらいの日々を過ごして来たのか、想像せずにはいられません。

「大矢谷の大岩は経ヶ岳の山頂付近にあったものが、度重なる地震活動などによって数万年前に崩れ落ちてきたものと考えられています。「岩屋の大杉」は高さ三十三メートル、樹齢は五〇〇年以上の巨木。いずれにしても、今を生きる私たちが生まれるずっと前から、この地を見守り続けてきました。」

立ち尽くし見上げる私たちがここで感じるもの。それは何かと忙しい日々を過ごす中で、ゆっくりと自分と向き合う時間も大切だよという、大先輩からのメッセージなのかもしれません。



「年齢を分かりやすく言うなら信長世代かな」と大杉様



「いつからここにいるのか誰も知らないわよ」と大岩様



日本各地の大名武具や戦国屏風などを展示。最上階からは鶴山市が一望できます



広大な敷地には大仏殿や五重塔など。一つひとつが狂巻のスケールです



明治時代から100年近く操業していた織物工場が、当時の賑わいを伝える記念館としてよみがえりました



グレンデの大きさは西日本最大級の「スキージャム勝山」。春から秋にも高原のアウトドアを満喫できます

季節・時間・天気、
さまざまな場面も
その日だけの出会い。

勝山を代表する観光スポットは他にもあります。

奈良の大仏を上回る大きさを誇る「越前大仏」、貴重な文化財を数多く展示する「勝山城博物館」、明治から昭和にかけての織物工場の賑わいを今に伝える「はたや記念館ゆめおーれ勝山」。これらは勝山がたどってきた歴史や育んできた文化に触れることができる施設です。そして「スキージャム勝山」では、冬はもちろん四季を通じてアウトドアを楽しむことができます。

季節や時間、天気はさまざま。訪れた時の条件それぞれに違った魅力があります。その魅力は一度足を運んだだけでは分からないかもしれません。もしかすると、私たちの暮らしの中にある何気ない風景で感じてもらえるものかもしれません。

ただ、どの日どの場所であっても、あなたと勝山の出会いは二期一会。一つひとつが大切なものなのです。



勇壮な火柱が競演するとんど焼きでフィナーレ。多くの人が願いを胸に炎を見つめます



女性の「浮き姿」も見どころ。華やかに激しく、しなやかに力強く



街は色とりどりの短冊に、洒落や風刺が効いた辻行燈や作り物で彩られます



春を呼ぶ日は、
一年で一番
特別な日。

まだ雪が残る二月の終わり、街は「左義長まつり」一色になります。

まつりの二日間は、市内十二の地区に建てられた櫓の上で三味線や笛のお囃子とともに、赤い長襦袢を着た男衆や子どもたちが太鼓を打ちながら浮かれ踊ります。優雅で上品、時には笑いかれ誘う「おどけ浮かれる」様は、全国の左義長の中でも勝山左義長だけのもの。これが「奇祭」とされている理由です。

厳しい冬に終わりを告げ春を呼ぶ奇祭は、三〇〇年以上受け継がれる、勝山文化の代名詞なのです。

この味を美味しいと
感じてくれた日を
あなたの心に。

白山からの清らかな水が育んだ勝山
ならではの恵みを味わうなら、素材か
らシンプルに作るそばがおススメ。「勝
ち山おろしそば」は100%地元産のそ
ば粉を使用。寒暖差の激しい気候が香
り高いそばを育てます。このそばに、
大根おろしの入ったダシを豪快にかけ
てツルツといただくのが地元流です。

一年は三六五日。あなたが勝山を訪
ねるのはどの日、どの季節でしょうか。
人口は約二五〇〇〇人という小さな街
です。特別なおもてなしはできないか
もしれませんが、素朴な「勝ち山おろし
そば」のように、背伸びすることなくお
迎えしたいと思っています。

勝山で過ごす時間が、あなたの心に
ずっと残るものになりますように。



秋になると市内のあちこちでそばの花を見ることができます。新そばの実が出回るのは11月から12月



冬でも食べるのは冷たいおろしそば。シンプルな味ながら店ごとに味の違いを楽しめます



大矢谷の大岩

勝山市平泉寺町大矢谷
☎電話0779-88-8117(勝山市観光政策課)/見学自由



岩屋川のホタル

勝山市北郷町岩屋
☎0779-88-8117(勝山市観光政策課)
岩屋川以外にも、市内にはたくさんのホタルスポットがあります。



白山平泉寺

[白山平泉寺歴史探道館まほろば]
勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12 ☎0779-87-6001
開館時間 AM9:00~PM5:00(入館はPM4:30まで)
入館料:無料/休館日:水曜(祝日の場合は翌日)、年末年始



岩屋の大杉

勝山市北郷町岩屋
☎0779-88-8117(勝山市観光政策課)/見学自由



弁天桜

勝山市本町/えちぜん鉄道勝山駅徒歩5分
☎0779-88-8117(勝山市観光政策課)
期間:4月上旬(鯉のぼりは4月上旬から5月中旬ごろ)



福井県立恐竜博物館

勝山市村岡町寺尾51-11 ☎0779-88-0001
開館時間 AM9:00~PM5:00(入館はPM4:30まで)
入館料:一般720円/休館日:第2・4水曜(祝日の場合は翌日、
夏休み期間は無休)、年末年始





勝山左義長まつり

勝山市本町周辺 ☎0779-88-8117(勝山市観光政策課)
開催期間:2月最終土日



勝山城博物館

勝山市平泉寺町平泉寺85-26-1 ☎0779-88-6200
開館時間 AM9:30~PM4:30(入館はPM4:00まで)
入館料:大人500円/休館日:水曜、年末年始



越前大仏清大寺

勝山市片瀬50-1-1 ☎0779-87-3300
拝観時間 AM8:00~PM5:00/拝観料:大人500円
休館日:年中無休



勝ち山おろしそば

勝山市内13店舗で提供中



スキージャンプ勝山

勝山市170-70 ☎0779-87-6109
開館時間 グリーンシーズン(4月下旬~10月下旬)AM10:00~
PM5:00、ウインターシーズン(12月中旬~4月下旬)AM8:00
~PM5:00
※施設で異なる/料金:施設で異なる/休館日:不定休



はたや記念館 ゆめおーれ勝山


勝山市昭和町1丁目7-40 ☎0779-87-1200
開館時間 AM9:00~PM5:00(カフェコーナーはAM10:00~PM7:00)
※体験受付はPM4:00まで/入館料:無料(体験は有料)
休館日:年末年始




勝山市役所 商工観光部観光政策課

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1番1号
Tel.0779-88-1111 Fax.0779-88-1119
E-mail : kankou@city.katsuyama.lg.jp

交通案内

 電車 JR福井駅に隣接のえちぜん鉄道福井駅から勝山永平寺線で勝山駅へ

 自動車 北陸自動車道「福井北JCT」から中部縦貫自動車道「勝山IC」まで約30分



〈COVER PHOTO〉法恩寺山から見た冬の勝山。街を白く染めた雪景色は朝一番だけのもの